

事業の内容及び効果に関する写真

エル・パライツ県エル・パライツ市、アラウカ市における思春期リプロダクティブヘルス推進プロジェクト
特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構



【活動1】エル・パライツ思春期クリニックにおける思春期層へのカウンセリングの様子。医師・看護師が交代制で常駐し、妊婦健診から産後、家族計画、性感染症などについて思春期層へ教育を行っている。



【活動1】思春期クリニックにおいて、看護師とともに、啓発活動の準備をするピアリーダーたち。思春期クリニックにおける、対象校配属の心理カウンセラーがボランティアで参加する等、サービスの幅を広げている



【活動1】保健所スタッフと対象校配属の心理カウンセラーに対して研修が行われた。これまで思春期層の妊婦に多く対応してきたスタッフたちは、いかに同地区の若年妊娠予防に貢献していくかを話し合った。



【活動1】地元メディアよりインタビューを受ける本事業研修担当員。思春期層向けにリプロダクティブヘルスに関するメッセージを発信し、エル・パライツ思春期クリニックを紹介して来所を促した。



【活動2】エル・パライツ市アレハンドロ校の教師研修の様子。学校の生徒に対する思春期リプロダクティブヘルスに関する相談の対応の仕方を実演で学んでいる。左側の男性が生徒、右側が教師という設定。



【活動2】アルマンド校の教員研修の様子。教師たちは、若年妊娠のリスクがより高い同校の夜間の部に通う生徒へも性教育を行いたいと希望したことから、当初予定になかった夜間部の生徒への思春期リプロダクティブヘルス教育が実現した。

事業の内容及び効果に関する写真

エル・パライツ県エル・パライツ市、アラウカ市における思春期リプロダクティブヘルス推進プロジェクト
特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構



【活動2】エル・パライツ市サンタ・クルス地区のイシドロ校の保護者研修。実際に避妊具を用いて、デモンストレーションを行った。



【活動3】アラウカ市ロサリオ校のピアリーダー研修。アラウカ保健所の医師（写真中央奥）が講師を務め、研修後には、生徒のカウンセリングも行うなど、ピアリーダーと保健所の信頼関係の構築に役立った。



【活動3】イシドロ校におけるピア教育の様子。この日のテーマは自尊心で、15人のピアリーダーたちが、中学1年生から高校3年生までのクラスを順番に回り、約200人へピア教育が行われた。



【活動3】対象4校のピアリーダーが合同で会合を行い、それぞれの活動経験等を共有した。前事業で育成されたピアリーダーの参加もあり、お互いの活動のモチベーションを高め、刺激し合う場となった。



【活動4】アラウカ保健所とロサリオ校のピアリーダーが協働で行った健康フェアの様子。市内の中央広場で実施され、思春期リプロダクティブヘルスに関する情報やカウンセリングを求める思春期層で会場は賑わった。特に、医療的介入が必要とされた思春期層は、保健所へ紹介された。



【活動4】イシドロ校のピアリーダー達が作った看板。独立記念日を祝う学校行事の行進でも、思春期リプロダクティブヘルスを推進する標語を掲げ、思春期層へ呼びかけた。「赤ちゃんのためにリュックサックを変えないで（教科書やノートを入れたリュックから、おむつや哺乳瓶を詰めたママバッグに変えないで、の意）」と書かれている。